



2022年11月14日

各 位

会 社 名 GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 相浦 一成
 (コード：3769 東証プライム)
 問 合 せ 先 取締役副社長 村松 竜
 (TEL. 03-3464-0182)

当社の親会社 GMO インターネットグループ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役グループ代表会長兼社長執行役員・CEO 熊谷 正寿
 (コード：9449 東証プライム)

連結子会社 (GMO フィナンシャルゲート株式会社) の 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社の連結子会社である GMO フィナンシャルゲート株式会社の 2022 年 9 月期個別業績について、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022 年 9 月期通期個別業績の差異 (2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (2021 年 9 月期)	百万円 6,705	百万円 535	百万円 759	百万円 579	円銭 143.57
当期実績 (B) (2022 年 9 月期)	9,735	528	532	354	86.00
増減額 (B-A)	3,029	△6	△226	△224	
増減率 (%)	45.2	△1.3	△29.9	△38.8	

2. 差異の理由

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、決済端末の新規設置ならびに設置端末の稼働が進んだことにより、前期実績を上回る結果となりました。

営業利益は、売上高の順調な拡大を受け、インフラ費用、新規採用費用、役職員への還元費用を中心として期初の販売費及び一般管理費計画を上回る費用計上を行ったことにより、前期実績を下回る結果となりました。なお、GMO フィナンシャルゲート株式会社では連結ベースでの成長指標管理を行っており、連結営業利益においては前期実績比 25.7%の増加となっております。

経常利益及び当期純利益は、前事業年度において、GMO カードシステム株式会社より受取配当金を営業外収益として計上したことにより、前期実績を下回る結果となりました。

以上